

市立岸和田市民病院 中期計画

はじめに

本院は、昭和16年5月1日に岸和田市西之内町496番地に「公立大宮病院」として開院して以来今日まで、岸和田市民の皆さん、また病院を利用された多くの患者さんの「いのち」、「健康」を、共に守り、育んできました。

平成8年5月に現在の病院として生まれ変わってから、17年間、延べ約210万人の入院、延べ約570万人の外来の利用をいただきました。

これらの歴史の中で、「医療」という繋がりをもって共に笑い、共に泣き、「暮らしと命」を守る公共財産としてその使命を果たしてこれたことは、この上ない喜びであります。それゆえ、この公共財産をこれからも今までどおり、岸和田市、泉州二次医療圏の「財産」として守り抜き、発展させることが、本院の責務であると考えています。

社会構造も、医療のあり方も刻々と変化してゆく環境の中で、「本院の責務」をしっかりと果たすために、次の目標を掲げるものです。

第1 中期計画の期間

中期計画の期間は、平成25年7月1日から平成30年3月31日までの概ね5年間とします。

第2 目標とする内容

1) 岸和田市民の暮らしと命を守る礎として

1) - 1 市民目線の診療機能の充実に取り組みます。

産婦人科の再開に向けて全力で取り組みます。

大学医局への医師招聘依頼に際しては、市長・院長が先頭に立ち、市と病院が一致協力し、再開に向け努力します。

現在常勤医が不在である血液内科、精神科及び神経内科の常勤医師確保を目指します。

常勤医が一人しかいない腎臓内科、皮膚科、眼科の医師増員を目指します。

現在外来制限をおこなっている耳鼻咽喉科、整形外科の制限解除をめざし、医師の増員をはかります。

1) - 2 市民の皆さん、患者さんへの健康教育を充実します。 その目的を達成させるため、主に下記の指標に目標を設定します。

指標	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
糖尿病教室延人数	121人	130人	150人
循環器教室延人数	161人	180人	180人
薬剤管理指導件数	7,514件	8,000件	8,000件
栄養指導件数	698件	800件	1,000件
市民公開講座開催数	1回	2回	4回
出前講座実施数	8回	10回	10回

2) 泉州二次医療圏の地域中核病院として

患者さん、医療従事者の方々に、拠り所とされる病院を目指します。
その目的を達成させるため、主に下記の指標に目標を設定します。

指標	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
入院延患者数	120,148 人	129,198 人	129,575 人
外来延患者数	267,387 人	290,815 人	290,815 人
紹介率	46.0 %	48.0 %	50.0 %
逆紹介率	72.4 %	73.0 %	75.0 %
地域連携クリニカルパス数	142 件	150 件	150 件
セカンドオピニオン件数	14 人	20 人	20 人

3) がん医療の充実、発展のために

- 3) - 1 地域がん診療連携拠点病院の役割を發揮していきます。
その目的を達成させるため、主に下記の指標に目標を設定します。

(1) がん治療実績の向上

指標	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
外来化学療法延件数	4,344 件	4,412 件	4,500 件
放射線治療延件数	5,110 件	5,310 件	5,410 件
がん手術療法延件数(年中)	782 件	800 件	850 件
がん相談件数	2,757 件	2,900 件	3,000 件

- (2) 血液内科の早期再開、腫瘍内科、放射線治療科の医師の充実及び
専門、認定看護師を充実します。

指標	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
血液内科常勤医	0 人	2 人	3 人
腫瘍内科常勤医	2 人	2 人	2 人
放射線治療常勤医	1 人	2 人	2 人
がん関連専門・認定看護師	6 人	8 人	10 人

- (3) 緩和ケア病棟の円滑な運営

平成24年7月開棟した緩和ケア病棟を円滑に運営し、患者・家族のQOL向上に資するよう取り組みます。特に以下の項目について尽力します。

地域開業医、一般病院との連携の強化

当院のかかりつけ患者以外の患者も受け入れる準備を進めます。これにより地域の医療機関との緩和ケアの連携強化を図ります。

また、緩和ケア病棟から退院後の後方支援病院(協力病院)の拡大を目指します。

在宅での看取りを希望する患者・家族の思いが叶う医療環境の創出

これまで以上に在宅診療所との連携を図るために、退院前カンファレンスや診療所スタッフに緩和ケア病棟まで出向いていただき、退院後の療養指導を当院スタッフと協働します。

また、緩和ケア病棟からの在宅移行率を、25%の目標とします。

3) - 2 泉州二次医療圏を見据えた連携活動

本院に事務局をおいて平成24年5月に発足したNPO法人「泉州がん医療ネットワーク」と協力し、泉州二次医療圏における国指定の地域がん診療連携拠点病院として、以下の具体的な課題について検討し、泉州地域のがん診療レベルの向上を目指します。

地域がん診療連携拠点病院(本院)、大阪府がん診療拠点病院、一般病院、医師会・診療所の間で有機的効率的な連携関係の構築を目指します。

がん検診受診率の向上をはかるとともに、特に、要精密検査とされた受診者が精密検査を受けやすい体制の確立を目指します。

院内がん登録の精度向上をはかり、泉州二次医療圏のがん統計を信頼あるものにします。

緩和ケア病棟を有する本院の利点を活かし、泉州二次医療圏における緩和ケア体制・在宅ケア体制のレベルアップをはかります。

泉州二次医療圏の各病院のがん相談室を中心に、がん患者・家族への支援体制を構築します。

4) 救急医療の堅持のために

4) - 1 365日24時間の体制を堅持します。

現状の体制を維持します。(平均的な体制)

本院体制	医師	看護師	コメディカル	合計
当直体制	6 人	—	4 人	10 人
宅直体制	9 人	4 人	—	13 人
準夜・深夜体制	—	15 人	—	15 人
救急体制計	15 人	19 人	4 人	38 人

4) - 1 を達成させるため、主に下記の指標に目標を設定します。

指標	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
救急搬送応需率	79.7 %	80.0 %	85.0 %
救急搬送即日入院数	1,512 人	1,800 人	2,000 人

4) - 2 泉州地域各病院と協力し泉州地域全体の救急体制の整備を図ります。具体的取組として、泉州保健医療協議会医療部会救急医療体制検討小委員会との整合の取れた救急運営に注力します。

内因性疾患に対する救急診療体制(中心的二次病院)の継続(平成21年度～)

四肢外傷に対する救急診療体制(四肢外傷対応医療機関)への参加(平成25年度より開始予定)

4) - 3 災害訓練を実施し、災害医療センターとしての機能維持を継続します。その目的を達成させるため、主に下記の指標に目標を設定します。

指標	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
災害訓練回数	1 回	1 回	1 回

5) 急性期医療の適切な担い手として

疾病発生直後及び急性増悪時における高度医療の実践を適切に実施します。その目的を達成させるため、主に下記の指標に目標を設定します。

指標	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
平均在院日数	13.1 日	12.9 日	12.8 日
入院手術件数	3,091 件	3,150 件	3,200 件
クリニカルパス適用率	36.9 %	45.0 %	50.0 %

6) 教育病院として

- 6) - 1 医療従事者への研究研修を励行します。また、臨床研修指定病院としての実績を活かし、初期研修医定数の増員を図ります。その目的を達成させるため、主に下記の指標に目標を設定します。

指標	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
初期研修医数	11 人	12 人	12 人
後期研修医数	18 人	20 人	25 人

- 6) - 2 臨床研究・治験の推進

医学の進歩に貢献すべく、臨床研究及び治験を積極的に実施します。

7) 市立岸和田市民病院の全方向の満足度を高めるために

- 7) - 1 患者さんの満足度を高めるために

患者満足度調査、ご意見箱の分析を通じた対策の実施

病院利用時の利便性向上の推進

今まで、高額医療機器の更新、新規導入、増築など大規模な設備投資を行い、病院機能の充実をはかってきました。今計画期間では、患者さんにやさしい病院を目標に、病院利用時の利便性向上に資する整備も合わせて実施します。

市立岸和田市民病院をもっと知ってもらうための対策として

院内に広報室を設置し、広報活動に積極的に取り組みます。具体的には、一般向け広報誌、院内誌、および病院年報の編集と発行、さらに、本院地域医療センターと共同で地域医療機関向けニュースレター『地域連携ニュース』を一括管理し、従来までの各担当によるバラバラな執行を改めるほか、リアルタイムに情報を発信、更新できるような病院ホームページを管理します。

7) - 2 病院スタッフの満足度を高め、やる気を引き出すために

医師、看護師の負担軽減に資する体制整備を推進します。

医療スタッフの連携、チーム力の増進に注力します。

医師、看護師、コメディカルの専門的知識を結集し、患者さん中心の医療を目指すため、チーム医療の充実に取り組みます。

下記の人員配置目標を設定します。

ただし、人員計画については、経営状況に応じて柔軟に対応します。

指標	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
薬剤師	15 人	20 人	20 人
メディカルソーシャルワーカー	4 人	4 人	4 人
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	7 人	13 人	13 人
臨床工学技士	7 人	8 人	8 人
臨床検査技師	13 人	15 人	16 人
放射線技師	18 人	19 人	20 人

女性スタッフの働きやすい環境づくりを目指します。

院内保育所における24時間保育、小学校3年生未満の学童保育の実施を継続します。

また、病児、病後児保育について、検討、実施します。

第3 安定経営のための対策

前述の目標の達成を確実なものとするために下記に目標を設定し、不断の改善努力を行います。ただし、平成26年度には、公営企業法改正に伴う会計基準の見直しが適用開始となるため、法改正にかかる影響を踏まえ、本計画は、平成26年度にもう一度更新します。また、産科再開の目処が立てばその時点においても再度計画を更新します。

1) 収益の確保

1) - 1 適正な評価のもと収益を確保します。

医師確保を継続し、各年次の医療スタッフの総力を最大限に活用し、患者さんの満足、医療水準の向上とともに、適正、確実に収益に結びつけます。

(税抜き)

指標	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
入院収益	6,592,584 千円	7,188,522 千円	7,219,106 千円
外来収益	3,508,940 千円	3,874,870 千円	3,879,929 千円
入院単価	54,871 円	55,640 円	55,714 円
外来単価	13,123 円	13,324 円	13,342 円

2) 費用の効率化

- 2) - 1 患者さんにとって良い材料を安く調達するために不断の交渉を実施します。

(税抜き)

材料費比率の低減	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
薬品	1,187,143 千円	1,495,780 千円	1,498,616 千円
対医業収支比率	11.05 %	12.76 %	12.74 %
診療材料	1,328,976 千円	1,537,113 千円	1,540,026 千円
対医業収支比率	12.37 %	13.11 %	13.10 %
給食材料費	82,256 千円	85,601 千円	84,639 千円
対医業収支比率	0.77 %	0.73 %	0.72 %
医療消耗備品	30,955 千円	9,530 千円	9,530 千円
対医業収支比率	0.29 %	0.08 %	0.08 %

- 2) - 2 費用のメリハリ及び、固定経費の効率化を目指します。
下記の主な経費に目標を設定します。

(税抜き)

	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
修繕料	105,284 千円	95,238 千円	95,238 千円
対医業収支比率	0.98 %	0.81 %	0.81 %

平成8年築造から17年経過しているため、経年劣化している施設、設備、医療機器等のメンテナンスを適宜実施します。

(税抜き)

	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
光熱水費	240,414 千円	282,044 千円	282,044 千円
対医業収支比率	2.20 %	2.40 %	2.40 %

電気については、東日本大震災における影響、また原油等の価格変動を背景とし、単価アップは不可避です。また、ガスにおいても、同様です。
従って、こまめなエネルギー節約の実施、または効率の良い設備の使用などを適宜検討し、料金単価アップにかかる影響を織り込み、上記数値目標の範囲内に収めるよう努力します。

(税抜き)

	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
委託料	1,218,980 千円	1,191,887 千円	1,210,935 千円
対医業収支比率	11.30 %	10.17 %	10.30 %

委託業務については、今後リニアック装置、MRI装置などの機器保守委託料の増加が見込まれますが、委託料全体の中で、費用を抑制できるよう努力します。

(税抜き)

	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
賃借料	228,261 千円	232,087 千円	194,753 千円
対医業収支比率	2.10 %	1.98 %	1.66 %

主に、医療機器等のリース取引の新規分については、導入メリットを十分に検討し対応するものとします。

2) - 3 固定経費の節減に努めます。

その他の経費については、平成24年度見込み水準から、それぞれ経費抑制を念頭に目標値となるよう努力します。

(税抜き)

対象経費	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
消耗品	77,167 千円	71,544 千円	70,687 千円
消耗備品	27,522 千円	7,891 千円	7,891 千円
通信費	10,545 千円	11,000 千円	11,000 千円
手数料	10,196 千円	11,103 千円	10,969 千円
印刷製本費	13,514 千円	14,114 千円	13,945 千円
対象経費計	138,944 千円	115,652 千円	114,492 千円

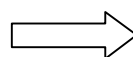
2) - 4 適切な投資を目指します。

本院の目指す目標に資するため、安定経営に留意しつつ医療機器等の更新、取得を適時、適切に実施します。

3) 一般会計による繰入金の投入目的の明確化と安定化

一般会計からの繰入金については、市立岸和田市民病院評価委員会第2回目の外部委員からの指摘を踏まえ、予定されている地方公営企業法改正に伴う会計基準の変更に合わせて、現在の全ての繰り入れ項目について再度点検し、病院会計の収支増減とは独立した行政負担分としての必要額となるようにします。

現在の繰入対象	平成24年度(見込)
救急医療負担分	429,540 千円
公衆衛生行政派遣分	10,000 千円
高度医療負担分	571,067 千円
特殊医療負担分	43,392 千円
利息償還負担分	334,732 千円
研究研修補助分	11,269 千円
繰入金合計	1,400,000 千円



平成26年度 地方公営企業法改正に伴う会計基準にあわせ、平成25年度中に再度点検、積算を実施する。

4) 目標経営指標

目標経営指標	平成24年度(見込)	平成27年度目標	平成29年度目標
病床利用率	82.3 %	88.3 %	88.8 %
入院患者一人当り額	54,871 円	55,640 円	55,714 円
外来患者一人当り額	13,123 円	13,324 円	13,342 円
経常収支比率	102.4 %	102.9 %	103.3 %
人件費比率	49.7 %	48.8 %	48.8 %
材料費比率	24.5 %	26.7 %	26.6 %
経費比率	18.5 %	16.8 %	16.6 %